



学校だより

調布市立調和小学校
校長 井上 潔
学校評価特別号

<http://www.chofu-schools.jp/chowa-sho>

調和小

検索

平成28年度教育活動についてのアンケート結果

12月に実施いたしました、本校の教育についての保護者アンケートに377名(回収率69.7%)の回答をいただきました。年々、ご回答いただく保護者の方々が増加しています。これも学校に対する期待の大きさとして捉え、おおいに参考にさせていただくとともに、本校の教育活動の充実に努めていきたいと考えています。

【各項目の表示内容】

番号 保護者アンケートの結果

集計結果(グラフ)

集計結果(表)

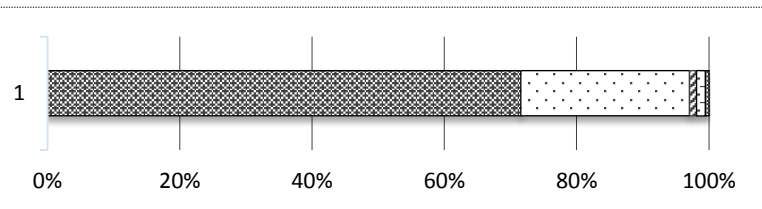
保護者からのご意見

学校の考察やコメント

A: そう思う, B: ややそう思う, C: あまりそう思わない, D: そう思わない, E: わからない

1 子供は、学校に楽しく通っている。

A	B	C	D	E	肯定的評価 A+B
72%	26%	1%	1%	1%	97%

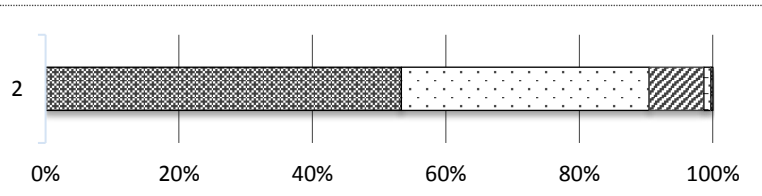


- 楽しそうに学校の話をしている。
- とても楽しく登校している。
- 友人関係が良好な様子。
- 友達の大切さを学んでいる。

A「そう思う」に72%と高評価をいただきました。反面、CやDの方がいることもしっかりと受け止めてまいります。子供たちが楽しく学校に通えることは、家庭と学校、共通の願いです。学校が子供たちの楽しい学び場であり、可能性を拓く場となるよう、今後も努力していきます。

2 子供は、意欲的に学習に取り組んでいる。

A	B	C	D	E	肯定的評価 A+B
38%	44%	15%	1%	2%	82%

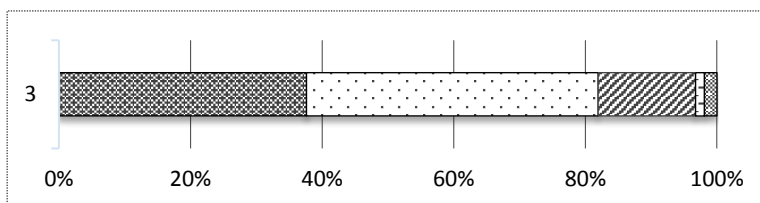


- 様々なことに興味をもって通っている。

電子黒板をはじめとするICTを活用した授業、体験的な活動、子供の意見を取り入れ主体的な活動を引き出す働きかけなど、様々な工夫を行い、学習意欲の向上に努めます。

子供は、気持ちのよいあいさつをしている。

3	A	B	C	D	E	肯定的評価 A+B
	38%	44%	15%	1%	2%	82%

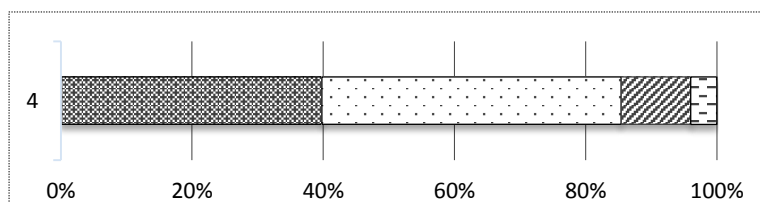


△自分からあいさつをする子供が少なく残念。
△あいさつは不十分。引き続き指導してほしい。

学校として、重点的にあいさつに取り組んできました。校内では、自分からあいさつする子が多くなりましたが、来校者(保護者、来客等)へのあいさつが定着していません。あいさつ運動で正門に立ってくださっている地域や保護者の方にもすすんであいさつできるよう、学校において粘り強く指導を続けますが、ご家庭での指導もよろしくお願いいたします。

子供は、家庭学習をしっかりと行っている。

4	A	B	C	D	E	肯定的評価 A+B
	40%	46%	11%	4%	0%	85%

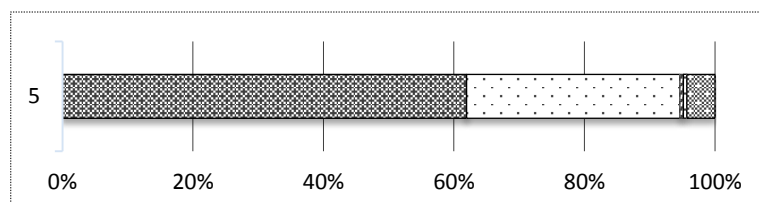


○テストに向けて勉強するようになった。

学年に応じて若干の差はありますが、下学年には音読・漢字練習・計算ドリルなどを、上学年には自分で決めた課題などに取り組ませています。やらされる学習ではなく、自らすすんで取り組む学習の定着に向けて、家庭と連携しながら取り組みます。

学校では、教員が分かりやすい授業に努めている。

5	A	B	C	D	E	肯定的評価 A+B
	62%	33%	1%	1%	4%	95%

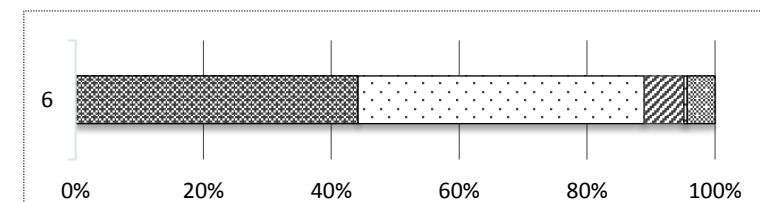


△決まったやり方だけでなく、自由に考えさせてほしい。
△授業がわかりにくい先生がいる。
△作文やスピーチが難しそうで、辛そうに見えることがあった。

概ね肯定的な評価をいただいています。学校や学年で統一した授業の枠組みの中で、自分の考えを交流し、深め合う学習を行っています。これからも個々の教員の力量の向上について、互いに学び合う研修システムの中で切磋琢磨をしていきます。

学校の様々な教育活動により、子供の自立や自発的な態度が高まっている。

6	A	B	C	D	E	肯定的評価 A+B
	44%	45%	6%	1%	4%	89%

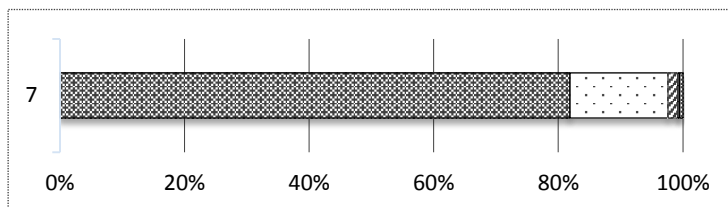


○6年間でたくましくなった。様々な教育活動の成果だと思う。
○2年生の学校農園活動は自然とふれあう貴重な体験ができた。育てた野菜を夕食にいただき、家族で話に花が咲いた。
○集団生活の中で他者とともに生活しながら自己を発揮していくことなど、多くのことを学べている。

<学校農園活動>地域の方の多大なご協力により、児童は苗植え(種まき)と収穫を体験でき、「食」や「命」について考えるきっかけとなる貴重な学習になっています。家庭の団らんの話題になっていることは嬉しいことです。

学校行事は、子供にとって意味のあるものになっている。

7	A	B	C	D	E	肯定的評価 A+B
	82%	16%	2%	0%	1%	98%

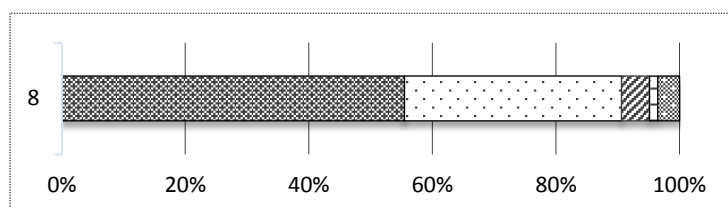


○学年毎の小さなイベントも子供の成長に生きていた。
○他学年とも交わり成長していると思う。
△表現力やチームワークなど学べる演劇を学習発表会で実施してほしい。
△同学年以外の人や地域の方々とのふれあいをもっと取り入れてほしい。

<異学年交流>たてわり活動をさらに充実させていきます。たてわりタイム(月1回)をはじめ、隣接学年の交流などで異学年交流を進めています。
<学習発表会>生活総合、音楽、図工等の教科学習の成果を発達段階に応じた方法で発表する現行の学習発表会は、意義のある教育活動であると考えています。演劇活動も価値ある学習ですが、児童数、学級数が増加する中、学年で一つの演劇活動を行うことは、今のところ検討していません。

学校は、調和小サスケ・授業・行事等を通して、体力づくり努めている。

8	A	B	C	D	E	肯定的評価 A+B
	55%	35%	5%	1%	3%	91%

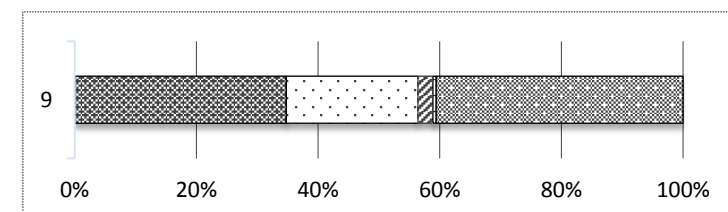


△家庭でも目標をもって取り組める課題があるとよい。
△もっと体力をつけてもらいたい。朝のランニングなど。
△体を動かす時間が少ない。体育の授業でもう少しカバーをしてほしい。
△夏季の水泳授業が少ないように思います。
○サスケがんばっていました。
○サスケのペースランニングも頑張っていた。
△冬場の授業で走る機会を増やしてほしい。
△サスケもよいが、「休み時間は休みたい」とぼやいている。

<体力向上> 体力調査の結果から、体力面には課題があります。「サスケ」という名称の業間体育(休み時間に行う体力向上のための取組)を毎年2回、2週間ずつ実施しています。今年度から内容を一新し、短なわとび(10月)と持久走(12月)に取り組み、全児童の運動量の向上に努めてきました。来年度は、1学期に「サスケ」を新設、引き続き体育授業の充実、外遊びの励行、専門家による体育指導の実施による体力向上を図る取組を重点にするとともに、PTAと連携した取組等も検討していきます。
<夏季水泳指導>学校の夏季水泳指導は、例年通り8回実施しました。今年度はSHC主催開放プールが実施されなかったため、入水の機会が減りました。(今後、SHC開放プールの実施予定はありません。)

高学年の一部教科担任制は、効果的である。

9	A	B	C	D	E	肯定的評価 A+B
	35%	22%	2%	1%	41%	56%

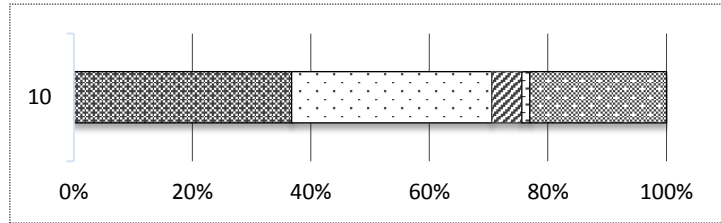


△人選を十分検討してほしい。
△もう少し担任の授業があってもよい
○とても新鮮でいい感じで受け入れている。

教科担任制の設問は回答該当者が限られていますが、回答者の評価は概ね肯定的です。来年度は、体力向上と学級内の望ましい人間関係づくりを中核とした体育指導の重点化を図っていくこと、新しい学習指導要領に対応していくため、教科担任制を休止し、交換授業により学年内の連携指導を実施する予定です。

学校は、子供の悩みや相談事を受け止め、対応している。

10	A	B	C	D	E	肯定的評価 A+B
	37%	34%	5%	1%	23%	71%

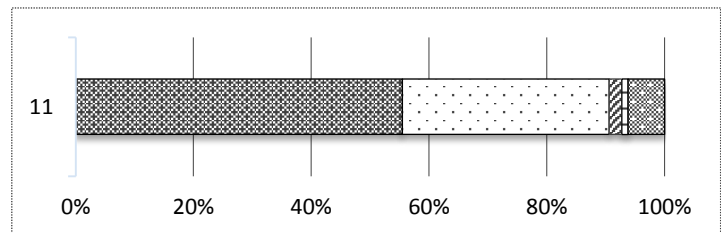


○先生と一緒に遊んでくださっていると聞き、頭が下がる。
○子供が話せる場を設け、対応してもらい感謝。
○対応に戸惑っていた時、話し合いの場をもてたことを大変感謝している。
○様々なトラブルの一つ一つに真剣に対応していただき、感謝している。
△聞いた話などでは、十分にできていないと思う。

「わからない」の回答が多く、肯定的評価が低い項目でしたが、自由記述では多くの肯定的な意見をいただきました。3学期から「友達に関するアンケート」を月1回実施し、きめ細かな友達関係の把握や事実確認により、いじめの早期発見、早期対応を心がけています。心配なことがありましたら、遠慮なく担任にご相談ください。

教職員は、明るく丁寧な対応を心がけ、一人一人を大切にされた教育が行われている。

11	A	B	C	D	E	肯定的評価 A+B
	55%	35%	2%	1%	6%	91%

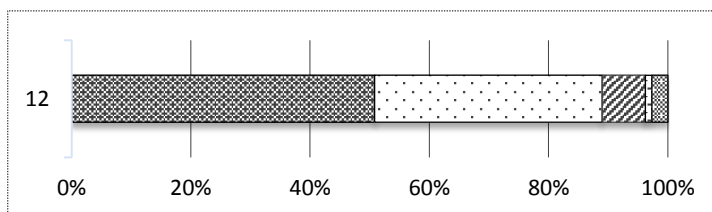


○細やかな対応で、子供が落ち着いて学習している。
○担任はじめ、学年全体で見守っていてありがたい。
○先生方を信頼し、気持ちが安定しているように思う。
○きめ細かく誠実に対応いただき感謝。
○細やかなサポートのおかげで前向きに勉強するようになった。
△担任不在の際の引き継ぎが不十分に感じた。

教職員は丁寧な言葉遣いなど、児童の模範となることを常に心がけ、教育活動を実践しています。児童の善い行いを認め励ますことによって自己肯定感を高め、意欲的な行動を引き出すよう努めています。また、専科教員を各学年の副担任として位置付け、担任と協力して学年経営を行っています。

学校は、家庭への連絡や情報提供を分かりやすく行っている。

12	A	B	C	D	E	肯定的評価 A+B
	51%	38%	7%	1%	3%	89%

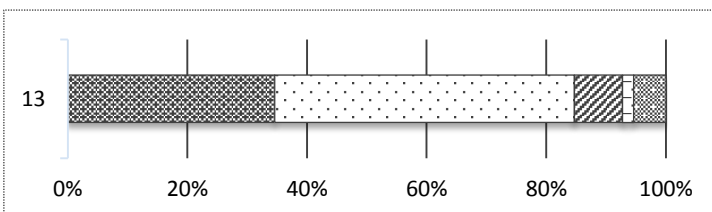


○電話などでの連絡がありがたい。
 △インフルエンザ等の流行状況をメール等でお知らせしてほしい。校内の環境対策も知りたい。
 △不審者情報等、他校より情報が少ない。不審者がどうなったのか知らせてほしい。
 △情報が複数のプリントにまたがり、全体を把握しづらい。また、違いもあるため戸惑うことがあった。
 △授業時間の連絡が、翌月の直前(学校だよりにおいては当月1日)では遅すぎる。1ヶ月前には知りたい。
 △学校公開にいつ行ってもよいかの記載がなかった。
 △忘れ物が多いことを早めに教えてほしかった。
 △子供の精神面、学習面などについて定期的に話を聞く時間等を設けてほしい。
 △テスト予告をしてほしい。

＜行事予定＞年間の大まかな行事予定等は、年度当初の保護者会にて資料を提供していますので、ご確認いただければ幸いです。個別の対応につきましては、担任にご相談ください。
 ＜不審者対応＞本校児童の安全に関わるものを選択して、情報提供しています。
 ＜個人面談＞全家庭対象に7月、希望制で4月に実施しています。随時ご相談には応じますので、遠慮なく担任にお申し出ください。
 ＜学校公開＞基本的に始業から終業時間まで授業公開しています。公開日以外でも授業参観は可能です。連絡帳等で事前に担任にお知らせください。
 ＜配布物＞発行にあたっては、複数の目でチェックしていますが、内容に齟齬がないよう、細心の注意を払って今後も確認してまいります。

登下校の時間も含め、子供の安全が守られている。

13	A	B	C	D	E	肯定的評価 A+B
	35%	50%	8%	2%	5%	85%

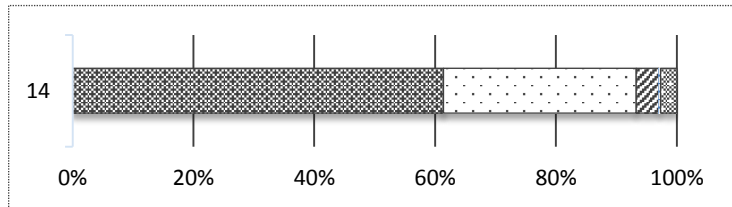


△登下校時が心配なので、集団登校が希望です。(高学年が低学年を連れて登校)
 △登下校中、広がって歩いている。注意しても改善されない。一人でぼんやり登校時刻に立っている子もおり、安全面で心配。
 △通学路が坂道になっていてスピードを出す車が多く危険。

＜集団下校＞事故データによると「集団登校の学校では、児童数あたりの事故件数が個別登校の1.6倍あった」という報告があります。また、遅刻する子がいる、欠席の連絡がない、集合時刻に家庭の意識差がある、適切な集合場所がない、アクシデントへの対応ができない、子供の落ち着きがなくなる等の理由もあり、集団登校は考えていません。
 ＜歩き方＞登下校を見ていると、広がっておしゃべりをしながら歩く等、危険を感じるがあります。その都度、学校では指導をしていますが、なかなか改善されません。ぜひ、児童の登下校の見守りを家庭・地域の皆様をお願いしたいです。
 ＜通学路の危険箇所＞昨年度に引き続き、通学路に防犯カメラ1台を追加設置しました。また、学校及びPTAの安全点検により危険箇所を把握、市教育委員会や警察と改善に向けて連携しています。法令等により、迅速な改善が難しい箇所もあります。

学校の施設・設備は、子供が学習する上で、満足するものとなっている。

14	A	B	C	D	E	肯定的評価 A+B
	61%	32%	4%	0%	3%	93%



△校庭の芝生化は校庭が狭いので必要か、疑問である。
△運動場が狭い。
△休み時間に校庭でサッカーができないのがかわいそう。もっと運動させられるよう配慮をお願いしたい。

<芝生>東京都の施策により、調布市でも芝生化を推進しています。本校は校庭外で芝生化できる用地がなく、現状のようになっています。今年は冬芝の種まきにより、養生期間が例年の半分以下の1ヶ月半で済みました。児童は芝生の感触を楽しみながら活動しています。土日は、芝生内での活動を制限していますが、芝生の保全にご理解ください。
<サッカー>本校は児童数が多いため、休み時間のボールけりを禁止しています。多くの児童が遊んでいる校庭で、ボールけりをするのは安全上、難しいです。

【その他自由記述】

<給食>○給食をととても喜んで食べています。
<保護者会>△保護者会の開催曜日が固定されないようにしてほしい。
<休み時間>△休み時間を使って学校活動を行うのでは、休みにはならない。
<学級編成>△親しい交友関係を意図的に離してしまうような分け方には疑問を感じる。
△運動会など3学級の学年はクラスが一丸となって取り組めるが、4学級の学年は一体感が出せず、残念。
<生活>△大きい子が小さい子のモノを盗っているのを目撃した。

<保護者会>行事や教員の出張などの関係で、やむをえず曜日が限定される場合があります。可能な限り配慮していますが、ご理解ください。
<休み時間>サスケなど学校として重点としている活動については継続し、教育活動の充実を図っていきます。
<学級編成>児童一人一人の特性に配慮したクラス分けを担当、専科等、複数の教員で協議し、決定しています。交友関係を恣意的に離すようなことはしていません。ご安心ください。
<運動会>3学級でも4学級でも同じ方法による色分けをするため、30年度より現行の学級対抗戦形式を改め、各学級を2色または3色(検討中)に分けた対抗戦とします。
<生活>校外での問題行動についてご家庭で把握していることがありましたら、学校へ速やかに連絡をお願いします。事実確認を行い、指導します。